

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札(プロポーザル)	
契約の件名及び数量	平成26年度メール便請負業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本郵便株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年2月12日 入札公告	
	平成26年3月12日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年3月12日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は20日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は28日間20営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		(業者A及びB) B4判(国立劇場カレンダーサイズ)のメール便を扱わないため、要件を満たせなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立劇場と国立能楽堂、国立文楽劇場間の通信用専用回線使用(平成26年4月から12ヶ月)	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	KDDI 株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年2月4日 入札公告	
	平成26年2月14日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年2月19日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は41日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は15日間10営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社
回答内容		各劇場間で一般業務用とチケット販売用の2回線を敷設。調達には、一方の回線に障害が発生した場合、他方に切り替わる設定(冗長化設定)を含んでいるが、当該設定作業に初期費用がかかるため、現業者と競合することが困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き業務等準備期間を十分確保するとともに、平成29年度に予定しているネットワーク全体の更新の際に、上記の冗長化設定を従来の回線側ではなく、振興会内部のネットワーク機器に移行させる等、仕様内容を見直し、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札(プロポーザル)	
契約の件名及び数量	平成26年度振興会WEBサイトの運用支援及び公演情報管理システム等の保守業務委託	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	ヴァイタルサービス 株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年1月17日 入札公告	
	平成26年2月17日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年2月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は43日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は31日間20営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社
回答内容		(業者A及びB) インターネット予約が可能な劇場のWEBサイト運用・保守・管理業務を1年以上継続して実施した実績がなく、また、プライバシーマークを取得していないため、応募要件を満たせなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、競争参加資格中の「インターネットチケット予約が可能な劇場の」という要件を削除し、より参加しやすい方向に改善する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、参加要件の見直しを含め、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度情報技術の情報提供及びアドバイザー業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	ガートナージャパン 株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年2月28日 入札公告	
	平成26年3月12日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年3月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は15日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は17日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		(業者A及びB) 仕様書の業務要件の一つ「情報技術における市場動向調査分析レポート提出」に関して「年間総数で300件以上」という要求数の達成が困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、情報技術における市場動向調査分析レポート提出に関する要件を緩和(年間300件以上→年間12件以上)し、より参加しやすい方向に改善する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立劇場受変電設備等保全業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社明電舎	
入札経緯及び結果	平成26年1月8日 入札公告	
	平成26年1月23日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年1月28日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は63日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は20日間13営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業主要メーカー
回答内容		他メーカーの設備及びシステムの保守業務は困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容を反映した件名「国立劇場特別高圧変電設備等定期点検整備業務」に変更する。</li> <li>・年間の保全業務から特定期間(5月～8月)の点検整備業務に変更する。</li> <li>・業務責任者及び業務担当者の実務経験及び資格要件等を緩和する。</li> </ul>		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
機器の特性を踏まえ、仕様内容を精査した上で、適切な契約方式を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立劇場本館等舞台及び楽屋業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社パシフィックアートセンター	
入札経緯及び結果	平成26年2月14日 入札公告	
	平成26年3月4日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年3月7日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は25日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は21日間15営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		参加資格に該当しなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
劇場特有の業務であり、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を随意契約にできないか検討する。		
契約監視委員会のコメント		
劇場特有の業務であり、同業他社の競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は、適切な措置と認める。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査しつつ、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式の適否を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度公演記録映像収録カメラマン、ビデオエンジニア等派遣業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社エヌ・エス・ティー	
入札経緯及び結果	平成26年3月18日 入札公告	
	平成26年3月24日 競争参加申請書類提出〆切	
	平成26年3月26日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は6日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	×	平成22年度から10営業日以上としているが、26年度は8日間5営業日。 ※再度公告のため。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		能楽堂のオーディオエンジニアの要件を満たす常用雇用者がいない。 また、国立劇場と国立能楽堂の公演収録日が重なった場合、常用雇用者を派遣することが困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	8	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度公演記録映像収録カメラ及び映像切替器の保守業務(本館・演芸場、委託)	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	池上通信機株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年2月3日 入札公告	
	平成26年2月14日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年2月19日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は41日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は16日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		参加資格に該当しなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
聴き取り等により業界の状況を調査し、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。



一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	9	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立演芸場舞台音響設備定期保守点検業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	ヤマハサウンドシステム株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年3月3日 入札公告	
	平成26年3月13日 競争参加申請書類提出〆切	
	平成26年3月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は15日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は14日間10営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		参加資格における特定機器に係る履行実績の要件を満たせなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、機器を特定する参加要件を見直すとともに、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、参加要件の見直しを含め、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	10	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立能楽堂座席字幕表示装置運用及び定期保守業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社イヤホンガイド	
入札経緯及び結果	平成26年2月14日 入札公告	
	平成26年2月27日 競争参加申請書類提出×切 平成26年3月3日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は29日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は17日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社
回答内容		参加資格に該当しなかった。また、当該装置は、別室から文字データを配信し、各座席ディスプレイに表示するシステムであり、納入業者でなければ、運用、保守業務は困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、聴き取り等により業界の状況を調査し、機器の特性を確認した上で、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
機器の特性を踏まえ、業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	11	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立能楽堂舞台技術設備常駐保守業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社エヌ・エス・ティー	
入札経緯及び結果	平成26年2月14日 入札公告	
	平成26年2月27日 競争参加申請書類提出×切 平成26年3月3日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は29日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は17日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社
回答内容		本件について把握していなかったため、今後は参加を検討したい。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、聴き取り等により業界の状況を調査し、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、業界の状況を調査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	12	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立能楽堂映像、音響、舞台照明等技術業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社パシフィックアートセンター	
入札経緯及び結果	平成26年2月14日 入札公告	
	平成26年2月27日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年3月3日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は29日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は17日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社
回答内容		人員の確保が困難であるため、近年は参加を見送っている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、聴き取り等により業界の状況を調査し、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、業界の状況を調査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	13	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立文楽劇場冷温水発生機保全業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	パナソニックES産機システム株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年1月6日 入札公告	
	平成26年1月20日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年1月22日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は69日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は16日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社□
回答内容		当該機器は各メーカーによって構造や検査方法が社外秘となっていることが多いため、納入業者でなければ、健全な保全業務は困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査し、契約方式の変更を含めた改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
機器の特性を踏まえ、業界の状況を調査しつつ、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式の適否を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	14	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立文楽劇場消防用設備等保守業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	能美防災株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年1月6日 入札公告	
	平成26年1月20日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年1月22日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は69日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は16日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		有資格の専門技術者の確保が困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査し、契約方式の変更を含めた改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、参加要件の見直しを含め、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	15	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立文楽劇場エレベーター等保守業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ビルシステム	
入札経緯及び結果	平成26年1月6日 入札公告	
	平成26年1月20日 競争参加申請書類提出×切 平成26年1月22日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は69日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は16日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		参加資格 (ISO取得) に該当しなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査し、契約方式の変更を含めた改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
機器の特性を踏まえ、業界の状況を調査しつつ、契約方式を随意契約とする。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	16	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度「義太夫年表」昭和編の編集・校正と資料調査に関する労働者派遣業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	ランスタッド株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年2月13日 入札公告	
	平成26年2月26日 競争参加申請書類提出〆切	
	平成26年2月28日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は32日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は15日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		仕様内容に適合した人材の確保が困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
業務内容の専門性が高いことから、派遣業務でなく、個人との業務委託契約への変更を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
調達内容を踏まえ、個人との業務委託契約へ変更し、契約方式を随意契約とする。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。



一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	17	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立文楽劇場自主公演字幕表示等業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社イヤホンガイド	
入札経緯及び結果	平成26年2月17日 入札公告	
	平成26年2月28日 競争参加申請書類提出〆切	
	平成26年3月4日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標としているが、26年度は28日間であり十分な確保ができなかった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は15日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	同業他社
回答内容		本件業務に係る業者は東京に集中、関西に支店等もなく、請負が困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、引き続き、聴き取り等により業界の状況を調査し、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な業務等準備期間を確保するとともに、業界の状況を調査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	18	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成26年度国立文楽劇場舞台映像設備保守点検業務	
契約締結日	平成26年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社エヌエイチケイアイテック	
入札経緯及び結果	平成26年2月7日 入札公告	
	平成26年2月21日 競争参加申請書類提出×切	
	平成26年2月25日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成23年度から、業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成22年度から1ヶ月以上の設定を目標とし、26年度は35日間確保。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、26年度は18日間11営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	不参加業者
回答内容		参加資格(実績要件)に該当しなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
参加要件を見直し、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善策の方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査しつつ、参加要件の見直しを含め、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
笹川隆司委員、小林伸行委員、伊田若江委員、徳丸吉彦委員、根木昭委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。